



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成27年3月31日

防犯カメラ設置検討結果を報告

組合員昼食会

組合員昼食会が2月20日(金)に問屋町会館で開催され、組合員等41名が参加した。はじめに事務局より、安心・安全な街づくりに向け調査研究を行った防犯カメラ設置に係る検討結果を報告した。報告内容は次のとおり。
現在、当卸団地の防犯体制は機械警備と警備会社による夜間巡回警備を実施しているが、犯罪抑止効果や事件発生

後の解決には欠けている状況にある。機械警備は、個々の組合員の防犯対策としては効果的ではあるが、当団地に市民が足を運ぶ機会が増加している近年、卸団地全体の「安心・安全」という大きな括りから見れば不十分となっている。組合では、街としての見守り機能向上のための防犯カメラを中心とした安心・安全街づくり推進体制構築が必要



組合員昼食会

であると考え、全国中小企業団体中央会の卸商業団地機能向上支援事業を活用して調査研究に取り組んだ。
防犯カメラ設置検討委員会(齊藤委員長)で検討を重ね、組合として新たな防犯施策として、次の3つを継続して検討していくこととした。
1つ目は防犯カメラの整備。犯罪等の防止・抑止・牽制及び事後検証にも高い効果が期待され、当団地のイメージアップにもつながることから、導入を前提に具体的な検討を続ける。
2つ目は街路灯の再整備。実地調査等から、街路灯再整備(LED化)による夜間照度向上が防犯対策として効果的であることが明らかとなった。街路灯の管理者である青森市に更新を働きかけると共に組合での整備についても検討を始める。
3つ目は災害時利用可能WiFiアクセスポイントの整備。同設備は、災害時等に通常のインターネット回線が不通になった場合でも、衛星回線を利用したインターネット回線により安否確認や情報収集を可能にする。卸団地の更なる付加価値向上を図るべく、調査研究に取り組む。
防犯カメラを整備するには

今年度の団地内雪状況

高額の費用がかかり、組合の費用負担を軽減するには補助金の活用が必須となる。そこで今すぐ設置を進めるのではなく、補助金の情報収集に努め、技術革新や新サービスの動向にも注意し、効果的かつ低費用で実現できるシステムを採用し、当団地の実情にあった防犯体制整備を進める。
昼食会ではその他、自動車安全運転センター青森県事務所の鹿内係長が「企業の安全運転意識向上と運転記録活用について」説明した。
鹿内係長は「企業の安全運転管理には運転記録証明書の活用が有効である。県内では千社以上が活用し、6年以上活用している企業では、人身事故が50%、物損事故は40%減少しており、効果が高い」と運転記録証明書の有用性を紹介した。

今年度の青森市は12月上旬から大雪が続き、1月3日に積雪100センチを超え、1月15日には今冬の最深積雪123センチを記録した。青森市では豪雪対策本部が設置され、問屋町でも問屋町雪害対策マニュアルに基づき雪害警戒態勢をとった。
組合の除雪費も過去最多を上回るペースで推移したが、2月に入ると小康状態が続き、平年をやや上回る程度となった。
このような大雪の中、左の写真のとおり、他の地域と比較して団地内は大型トラックでもすれ違える道路幅が確保された。これは組合が青森市と緊密な連絡をとったことによるもので、頻繁に除雪が入り、道路拡幅も行われ、雪による交通の混乱を回避した。
組合では今後も、問屋町が動きやすいビジネスパークとなるべく、冬期間の道路幅員を確保し組合員の業務に支障をきたさないよう取り組む。



1月9日の団地内枝線道路の様子



同時期の市内生活道路の様子

平成27年度事業計画が承認

第11回理事会

平成27年度事業計画などを審議する第11回理事会が2月24日(火)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、除排雪費の中間報告や問屋町新年合同厄払い及び青森問屋町経営同友会委託事業の参加状況、平成27年度事業計画立案アンケート調査結果について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり
案件一、平成27年度事業計画の骨子について

㈱伸和産業が青森市環境保全活動団体表彰を受賞

組合員の㈱伸和産業が平成26年度青森市環境保全活動団体表彰を受賞された。

青森市環境保全活動団体表彰とは、市内で環境保全活動に意欲的に取り組み貢献している団体を表彰し、その活動を広く市民に紹介すること、環境に対する意識向上及び環境に配慮した活動を推進するもの。

同社は、団地内をはじめ青森市や弘前市等、東青地域一帯でリサイクル回収業務を展開、古紙リサイクル事業や廃食用油を利用したバイオデイ

案件二、事業委員会からの意見について
毎年、雪解け後に実施している共同駐車場区画線工事の施工業者が承認された。

案件三、環境対策委員会からの意見について
平成27年度問屋町内景観管理業務の委託業者が承認された。

案件四、組合加入の取り下げについて
案件五、組合員跡地買取資金の借換について

案件六、組合員の所有権移転登記について
案件七、平成26年度第12回理事会の日程等について

1.ゼル車の導入等、環境負荷低減へ向けた取り組みが評価され、今回の受賞となった。
第4回青森市環境フェア2014において表彰式が執り行われ、同社の太田社長に鹿内青森市長より表彰状が授与された。



食用油を利用した伸和産業の収集車

平成27年度事業計画アンケート結果まとまる

組合の平成27年度事業計画立案アンケート調査の結果がまとまった。全139社の組合員を対象に実施したアンケートの回収状況は135社(97・1%)であった。

組合員の今後の新築・増築計画の有無に関する設問では、15社の組合員が「計画あり」と回答。特に建物建設から40年近く経過する問屋町地区で、建替えや改修の動きが始まっている。

今年度から取り組んでいる青森市南部の健康づくり拠点「健康管理に役立つ体力測定実施」

毎年恒例の体力測定が2月16日(月)、午後6時半からSDフィットネス(旧ゲオフィットネス)青森浜田店で開催された。今年度より組合業務対策事業として開催することとなった同事業には、組合員従業員23名が参加した。

参加者は初めに、体組成測定で各部ごとの筋肉量や脂肪量等を測定。インストラクターから説明を受け、自身の状態を確認した。

その後、ストレッチ運動で体を十分にほぐし、2組に分かれてトレニングを行った。スタジオトレーニングでは専



音楽に合わせて体を動かす

用チューブを使い、体に適度な負荷を掛けながら音楽に合わせて体を動かす「ボディバンプ」を実施。その他、参加者はマシン等を使い懸命に体を動かし、日頃の運動不足解消に励んだ。

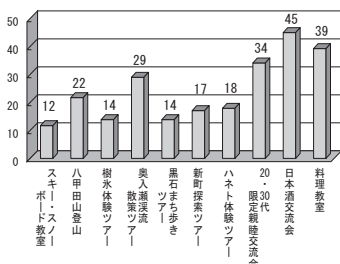
東北卸団地職員研修会に参加

東北卸商業団地連絡協議会事務局職員研修会が2月27日(金)、(協)仙台卸商センターにて開催された。東北各県の卸団地から23名の事務局職員が集まり、当組合からは西田業務課長代理が参加した。

研修会では中小企業大学校仙台校の福村校長を講師に招き「これからの組合のあり方と事務局の事業承継」と題した講演がなされた。

福村校長は「組合が安定した運営を継続していくには、事務局職員が歴史的な変遷をしつかりと継承していかねばならない」と語った。

【開催希望労務対策事業】



研修」が46社と最多で、続いて「問題解決力養成講座」が37社、「ビジネスマナーコンテスト」が28社から開催を希望された。
組合では、当アンケート調査結果を参考に、平成27年度事業計画策定に取り組み。

業務用食品酒類専門卸

株式会社 小田川

本社 青森市第二問屋町三丁目8番36号
TEL (017) 739-5465 FAX (017) 739-9058

地球にやさしい
エコロジーペーパー

可 齋藤紙店

青森市問屋町2丁目12-22
TEL (017) 738-6611 FAX (017) 738-9542

今春の採用見込みは75名
平成26年度求人アンケート調査

組合では、組合員の当団地内での採用状況を調査する平成26年度求人アンケート調査を実施した。

調査結果では、平成26年度の採用実績は41社173名(25年度46社177名)で前年比では微減となった。

平成27年度の新卒者の採用(見込み含む)は18社75名で、前年同時期の15社60名と比較すると大幅に増加。問屋町でも景気回復や人手不足の影響からか、企業の採用意欲が高まっている。

業務報告

…主要事項…

- 2月
 - 4日▽問屋町新年合同厄払い
 - ▽あおもりコンピュータ・カレッジ運営委員会
 - 7日▽簡易郵便局業務研修会
 - 10日▽元気都市あおもり健康アップ推進会議
 - ▽中央会関係団体合同新年講演会
 - 12日▽市高度化事業団体連絡協議会地域産業懇談会
 - 13日▽第4回事業委員会
 - 16日▽体力測定
 - ▽青森県労働講座
- 17日▽青森県ロジスティック推進フォーラム
- ▽青銀問屋町支店金友会総会・新年会
- 18日▽第3回労務対策委員会
- ▽金融審査会
- 19日▽第4回環境対策委員会
- ▽県経営者協会理事会・常任幹事会合同会議
- 20日▽組合員昼食会
- 24日▽第11回理事会
- ▽第2回県雇用安定創出対策本部
- 25日▽青森商工会議所業務流通商業部会総会
- 26日▽青森市ワーク・ライフ・バランスセミナー
- 27日▽東北卸商業団地連絡協議会事務局職員研修会

…問屋町
ビジネススクール…

- 10日▽会計経理の基礎の基礎・分析編(1日目)
- 12日▽会計経理の基礎の基礎・分析編(2日目)
- 14日▽中堅社員研修(1日目)
- 17日▽営業スキル研修・提案力実践編(1日目)
- 19日▽営業スキル研修・提案力実践編(2日目)
- 21日▽中堅社員研修(2日目)
- 24日▽会計経理の基礎の基礎・融資対応編

経済雑感
第八十六回
日本銀行青森支店
支店長 山口 智之

前号に引き続き、日本銀行青森支店の山口支店長による経済雑感をお送りする。

今年は春の訪れが早いようです。3月中旬現在、青森市内の道路脇に積み上げられていた雪は殆ど消えています。

この原稿を書いている時点でまだ実現していませんが、例年よりも早い春を利用して速出をしたいと考えています。昨年6月の着任後、秋までは、休日にはしばしば県内のドライブを楽しんでいました。しかし、雪が降り出してからは、慣れ

ない雪道の運転をできるだけ避け、市内での買い物程度に止めていました。そのため、冬の名物、例えば、風間浦の鮫鱈料理や三沢のホッキ貝を産地に食べに行くことは諦めていました。おいしい食べ物を頂くことが大好きですので残念に思っていました。



日本銀行 支店長 山口 智之
青森支店

いでしょう。そのような時、飲食店(あるいは飲食街)ひとつに行けば、マグロも鮫鱈も鱈も平目もホッキ貝もホタテ貝もトゲクリガニもガサエジもサバも活イカも、旬の県産品が揃っていて、好きなものをあれこれ食べられたら素晴らしいと思います。魚介類の新鮮さを保つための、技術的な問題が大きいかも知れませんが、また、高級食材は、どうしても大市場である東京に行ってしまうという話を聞いたこともあります。そうした諸問題を克服し、県内のお店で、青森ならではの旬のこだわりの味覚を、東京で食べるより新鮮に、安く

提供できれば、県産品への知名度の向上(東京では青森産であることがアピールされていない場合も多いです)、ひいては需要増につながると考えられます。さらに、どのような生産者が、どう育てたのかといった、こだわりのストーリーなどを紹介することで、その場での飲食に止まらず、生産者・生産地とのつながりが生まれ、プラス効果の拡大が望めます。

ここでは水産物を例に取り上げましたが、農産物などでも同様のことと言えると思います。オール青森の発想で、一途なこだわりの売り込み、地域活性化の更なるきっかけとなることを期待します。(元)

光最先端をめざして **IWASAKI** 新たな光で未来を照らす

EYE 岩崎電気株式会社
代表取締役: 渡邊文矢

本社: 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビルディング
Tel 03(5847)8611(代) Fax 03(5847)8645
青森営業所: 〒030-0113 青森市第二問屋町3-3-21
Tel 017(739)3431(代) Fax 017(739)3476

人と大地のハーモニー

ISEKI 農業機械販売

株式会社 中七本東北

青森支社
〒030-0131 青森市問屋町2丁目11-23
TEL 017(738)1331 FAX 017(738)8834

暮らしと住まいの総合商社

東栄株式会社

東北支店
TEL (017) 762-3316

住設事業部 青森営業所
TEL (017) 762-3503

青森市第二問屋町3丁目3番42号

未来をネットワークする

JAC www.jacopen.co.jp

ホームページ作成やサーバの運用管理は弊社データセンターにお任せください。

株式会社 青森共同計算センター

〒030-0113 青森市第二問屋町3-10-26
電話 017-771-1111 FAX 017-771-1123

無病息災を祈り 問屋町で合同厄払い

今回で3回目となる問屋町新年合同厄払いが2月4日(水)、問屋町会館で開催された。

仕事中でも参加しやすいよう昼休みの時間にあたる午後零時15分から行われた厄払いには、組合員従業員13名が参加した。

問屋町会館1階会議室に祭壇が設けられ、問屋町の氏神様である大星神社の沼田禰宜(ねぎ)による厄払いの祈禱が行われ、自身や家族の無病息災等を祈願。参加者には「お守り」「お札」「御神矢」が贈



問屋町合同厄払い

られた。

仕事と生活の調和の 実現に向けて

青森市市民生活部が主催する、青森市ワーク・ライフ・バランスセミナー

町が2月26日(木)、午後5時30分より問屋町会館会議室で開催され、43名が参加した。セミナーは2部構成で行われ、第1部ではNPO法人あおもり男女共同参画をすすめる会の千田理事長が「ワーク・ライフ・バランスとは？」をテーマにミニ講義を開催。千田理事長は「ワーク・ライフ・バランスとは仕事と生活のバランスをとるため、働き方、暮らし方を変えてみようという取り組みで、従業員にとっては生活の質の向上が図られ、企業側にとっては人材の活用や職場の活性化につながる」と解説した。



ワーク・ライフ・バランスセミナー

第2部の座談会では(株)エール・キャリアスタッフの田中

団地企業訪問

今回は、今年4月で青森営業所長に就任して丸1年を迎える株式会社アデイスミューズの山口所長にお話を伺った。

同社は、陳列用器具の賃貸及び販売業として昭和53年9月に設立。現在では東日本エリアに8営業所を構え、マネキン及びディスプレイ用什器のレンタル・販売、展示会・イベントの企画・設計・施工を行っている。

「当社は総合ディスプレイ業としてお客様の立場に立ち、「ディスプレイとは売れる売り場づくりである」という考え方を基本に、お客様の繁盛



(株)アデイスミューズ 青森営業所 所長 山口 和英 氏

請負業とされるよう、常に様々なアイデアを考え提案しています。当営業所は、30歳前後の若い営業マンのフットワークの軽さが売りで、青森・秋田・岩手の北3県をターゲットに日々活動しています。

向にあることから、レンタル事業も大幅な伸びは期待できないのが現状です。そのため、百貨店・小売店で培ったディスプレイのノウハウを活かし、近年は店舗の内装事業にも力を入れて取り

ています」と話した。生まれも育ちも青森の山口所長に趣味を聞くと「夏はダイエツトも兼ねてのジョギング、冬は今年からですが、仕事終わりにスノーボードに社員と行きます。大学時代から随分プランクがありました。が、久しぶりでも体が覚えていたので意外と滑れました。休みは不規則なのですが、休日は家族と一緒に時間を過ごすようにしています」と微笑

「展示会やイベント等が減少傾向にある現状について尋ねると、業界の現状について尋ねると、

「展示会やイベント等が減少傾向にある現状について尋ねると、業界の現状について尋ねると、

「展示会やイベント等が減少傾向にある現状について尋ねると、業界の現状について尋ねると、

編集後記

一面でもお伝えしたとおりの防犯カメラ設置検討委員会

- ① 交通安全 ② 犯罪・テロ ③ 迷惑行為 ④ 地震・台風・雪害 ⑤ この「脅かす要因」対策として「安心・安全な街づくり」のため絞り込まれた対策が次の三つです ① 防犯カメラの設置 ② 街路灯の再整備・LED化 ③ 災害時利用可能WiFiアクセスポイントの整備 ④ しかし、この整備には多額の費用がかかります。これを低費用にするためには、補助金の動向や、技術革新や法律改正などの情報収集が不可欠となり、加えてより効果的なタイミングで実施する必要があります (藤本)

HOTEL AOMORI TEL.017-775-4007

らーめんはちもり 青森市問屋町2-10-3 TEL 017-752-9215